CalDigit

T3

with Thunderbolt™ 2 & RAID 5

ユーザーマニュアル

より詳しい情報はこちらからwww.caldigit.com/jp

目次

1. はじめに 03

パッケージ内容 06

T3ダイアグラム 07

2. T3の使い方 08

ソフトウェアのインストール 08

T3の接続 09

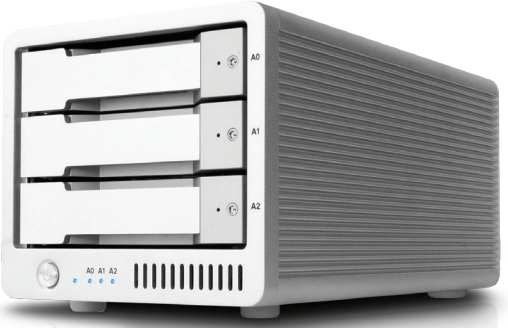
RAIDの作成 10

Mac OS X 11

T3ドライブモジュールの交換 18

T3の電源を切る 20

3. テクニカルサポート及び保証内容 21



1. はじめに

CalDigit T3は、優れた性能はもちろん、貴重なデータの究極的な保護も必要とするユーザーのために誕生しました。

T3は、RIAD 0、1、5とJBODの技術を搭載するデバイスです。従来のデュアルベイRAIDソリューションと同じような価格で、筐体サイズの増加を最小に抑え、優れた性能を追加しました。

Thunderbolt™ 2を搭載し、HDD及びSSD両方と互換性があり、4Kワークフローに最適なソリューションです。

使用上のご注意

ご使用前にT3の本マニュアルを十分にお読みになり、製品をよく理解してください。

通気性の良い環境で使用してください。適切な空気の流れを確保するためにファンを塞がないようにしてください。熱源の近くや直射日光のあたる場所で使用しないでください。

非常に高温や低温になる環境下でT3を使用しないでください。ドライブ損傷の可能性が高まります。安全な温度範囲は4.4°C ～ 35°Cです。

湿度の高い環境下でT3を使用しないでください。湿気や結露がドライブに蓄積し、電子部品が損傷すると、ユニットが故障したり、データが消失することがあります。

T3付属の電源アダプター以外は使用しないでください。過剰または不十分な電力供給により、性能が不安定になり、また故障の原因にもなります。

ハードディスクは衝撃や乱暴な取り扱いに敏感であり、パフォーマンスの低下やディスクの故障を引き起こすことがありますので、T3を運ぶ際は十分ご注意ください。

安全上のご注意

液体や湿気から遠ざけてください。液体に触れると、デバイスの損傷や感電、火災の恐れがあります。もしT3が濡れているときは、電源を入れないでください。

デバイスにどんな問題があってもご自身で修復したり開けたりしようとしないでください。けがやデバイスの損傷につながります。また、保証が無効になります。
もし何か問題がございましたら、CalDigitテクニカルサポートへご連絡ください。

すべての電子機器は故障しやすいです。突然のデータ消失に備え、少なくとも2つのバックアップを取得することを強くお勧めします。ドライブをCalDigitに返送する場合は、必ず事前にデータのバックアップを取得してください。CalDigitに返却されたドライブ上のデータの完全性は保証できません。CalDigitは、データを回復することができませんし、データの消失に対して責任を負いません。

T3本体は標準で5年限定保証が付いています。
T3のHDDは3年限定保証になります。

バースト転送率は、コンピューター毎に異なります。ホスト構成によって、平均速度が通常より遅くなることがあります。

重量は構成や製造工程により異なります。

重要

本製品の使用は、付属のソフトウェア使用許諾契約の受諾の対象となります。

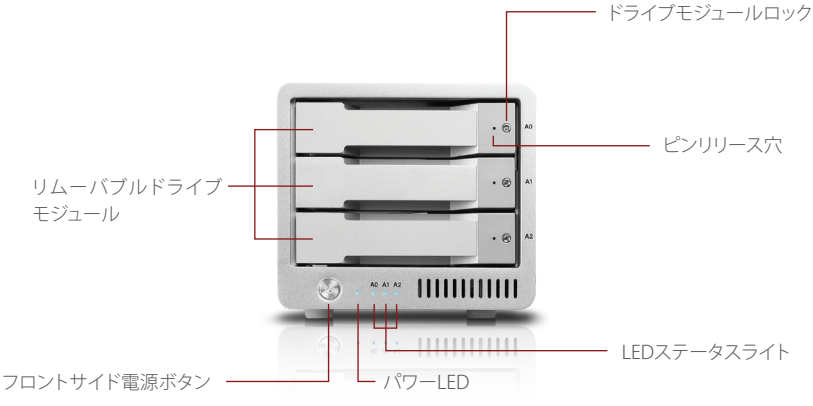
1TB（テラバイト）＝1000GB（ギガバイト）＝10億bytes(バイト)。利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります（通常5〜10%減）。

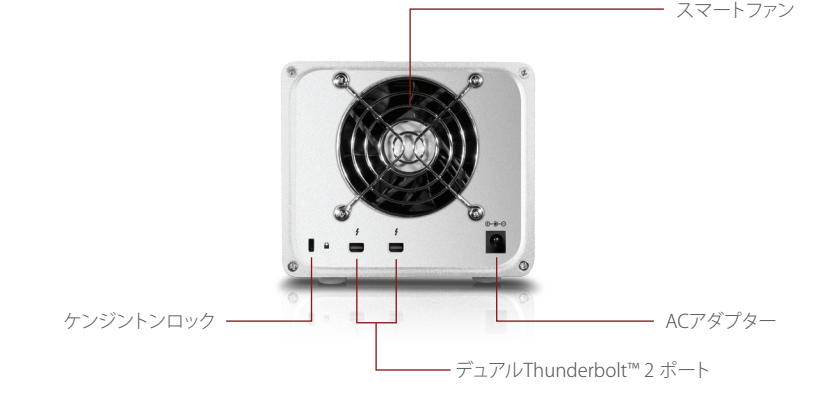
パッケージ内容

① T3 RAID本体x 1
② CalDigit共通ドライブモジュールx 3
③ ドライブモジュールリリースピンx 1
④ ドライブモジュールロックキーx 1
⑤ 電源アダプターx 1
⑥ 電源コードx 1
⑦ 3-2極アース付き変換アダプター

*パッケージ内容は各代理店および再販業者によって異なる場合がございます。各販売店にご確認ください。

T3ダイアグラム


ドライブモジュールロック
ピンリリース穴
リムーバブルドライブ
モジュール
LEDステータスライト
フロントサイド電源ボタン
パワーLED
A0
A1
A2


スマートファン
ケンジントンロック
ACアダプター
デュアルThunderbolt™ 2 ポート

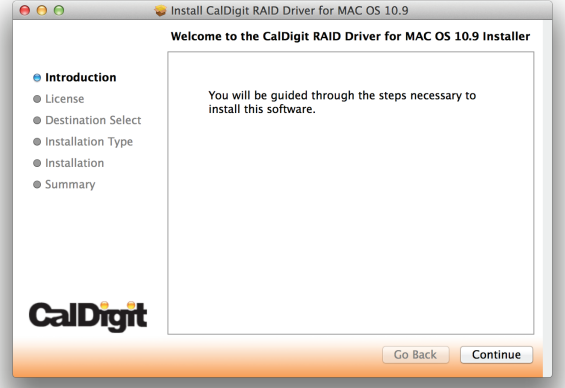
2. T3の使い方

ソフトウェアのインストール

❶ CalDigit Drive Utilityソフトウェアをインストールしてください。インストーラはCalDigitのサポートページからダウンロードすることができます。www.caldigit.com/support.asp.
このパッケージには、T3の操作に必要なドライバーも含まれています。

注 意

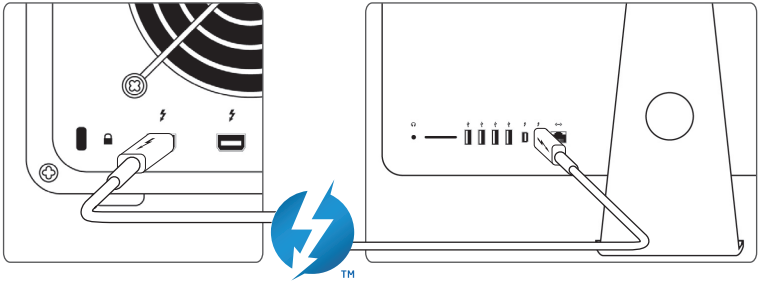
コンピューターがT3を認識するために、ドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。



T3の接続

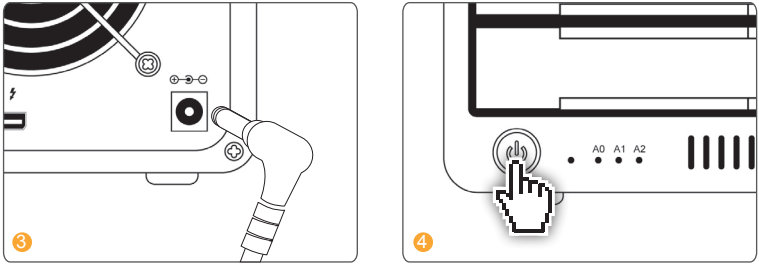
❶ コンピューターの電源を入れ、OSにログインしていることを確認してください。

❷ Thunderbolt™ケーブル*でT3をコンピューターに接続します。



❸ T3に電源を接続します。

❹ 電源ボタンを押してT3を起動してください。T3がマウントされ、使用できるようになっています。Windows PCの場合は、マウントする前にT3のフォーマットが必要となります。



*Thunderbolt™ケーブルは別売です。

RAIDの作成

注意

T3はMacのHFS+ファイルシステムを使用し、RAID 5ソフトウェアとしてフォーマットされています。
WindowsユーザーはNTFSフォーマットを用いるWindowsのディスク管理ソフトウェアを使用してT3にRAIDを再作成する必要があります。
RAIDを作成する際にドライブの既存データを削除するため、RAIDを作成する前に必ずデータのバックアップを取得してください。

ストライプ化されたRAIDセット ー RAID 0 ー RAID 0内のすべてのドライブにデータを均等に分散します。性能向上のために使用してください。 RAID 0はドライブ障害に対するデータ保護機能がないため、RAID 0を使用する際はバックアップの取得を強くお勧めします。

ミラーリングされたRAIDセット ー RAID 1 ー RAID 1ボリューム内のすべてのドライブに同じデータのコピーを作成します。RAID 1は、バックアップ及びアーカイブに最適です。RAIDの種類の中で最も安全ですが、性能向上は提供しません。

分散パリティ付きのストライピング ー RAID 5 ー RAID 5のすべてのドライブに同じデータのコピーを作成します。性能とデータ保護を必要とするユーザーに最適です。RAID 5はストライピングの性能と同時にドライブの冗長性を提供します。万が一ドライブが1台壊れても、データは残り、アクセスすることができます。

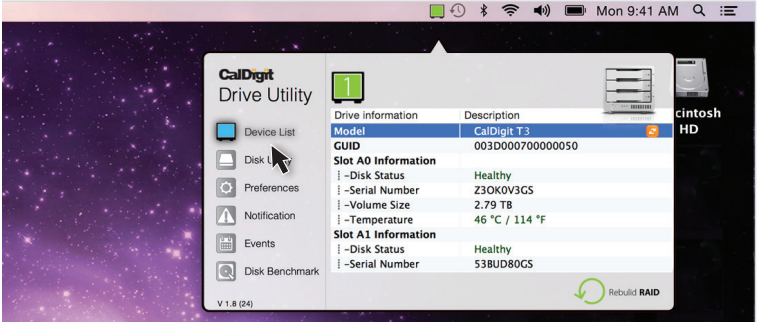
JBOD - "Just a Bunch Of Disks（単なるディスクの束）"の略で、T3のすべてのディスクは冗長性がなく、独立して動作します。

Mac OS X - RAID 0 または RAID 1

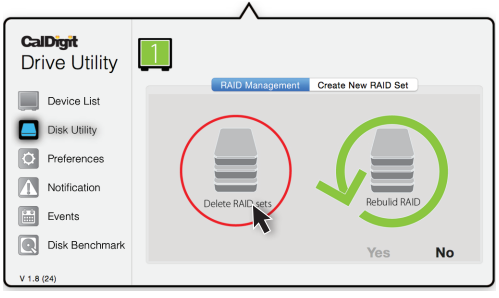
既にRAIDセットを設定している場合、新しいRAIDセットを作成する前に現在のRAIDを削除する必要があります。RAIDセットを設定していない場合は、ステップ1の次は、ステップ4にスキップしてください。

注　意　RAIDセットを削除するとT3上のすべてのデータが削除されます。事前にデータのバックアップを取得してください。

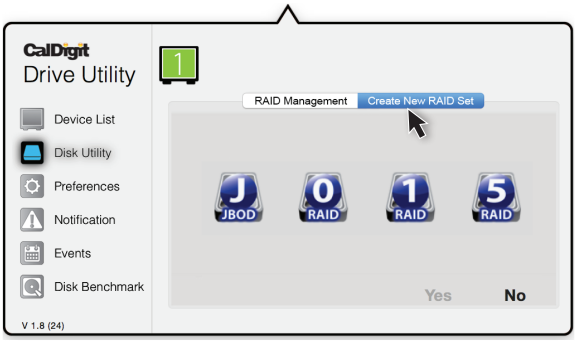
1. 「CalDigit Drive Utility」ソフトウェアを起動します。
2. 画面左の「Disk Utility」をクリックします。



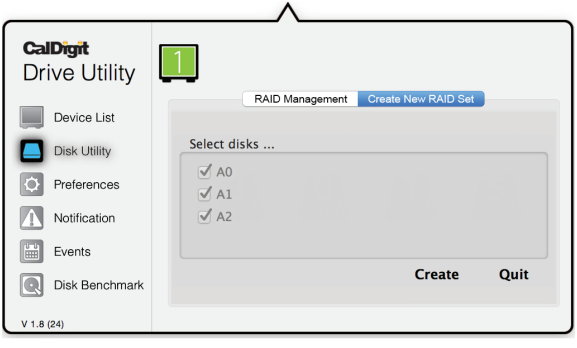
3. 「RAID Management」を選択し、「Delete RAID Sets」をクリックします。「Yes」をクリックすると現在のRAIDセットが削除されます。



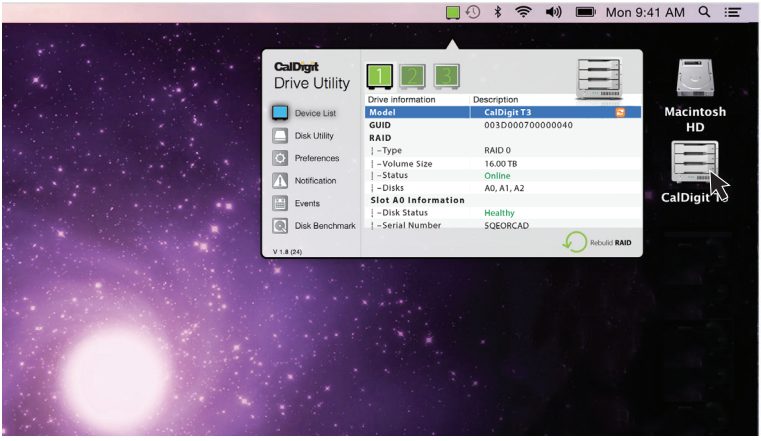
❹「Disk Utility」画面に戻り、「Create New RAID Set」をクリックします。作成したいRAIDモードを選択してください。



❺ RAIDセットを作成したいドライブをチェックし、「Create」をクリックしてください。ドライブは上からA0、A1、A2と番号が付けられています。



⑥ RAIDが作成され、T3がコンピューターにマウントされます。



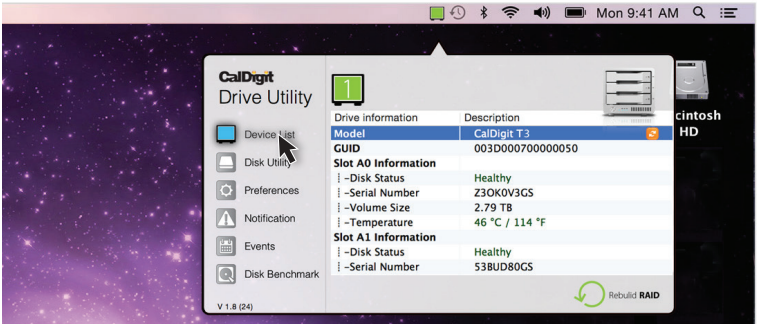
RAID 5

既にRAIDセットを設定している場合、新しいRAIDセットを作成する前に現在のRAIDを削除する必要があります。RAIDセットを設定していない場合は、ステップ1の次は、ステップ4にスキップしてください。

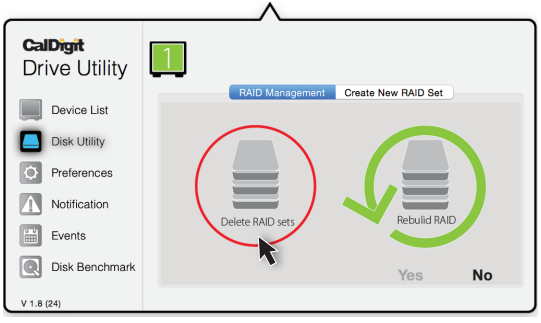
注　意　RAIDセットを削除するとT3上のすべてのデータが削除されます。事前にデータのバックアップを取得してください。

❶「CalDigit Drive Utility」ソフトウェアを起動します。

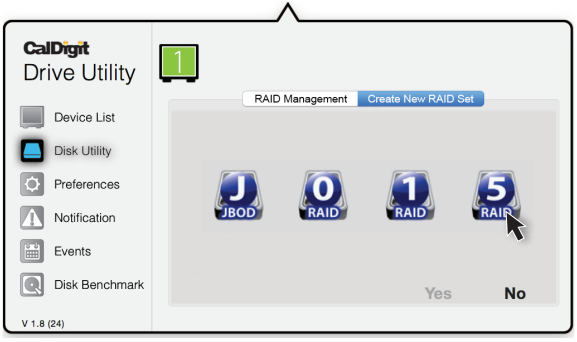
❷ 画面左の「Disk Utility」をクリックします。



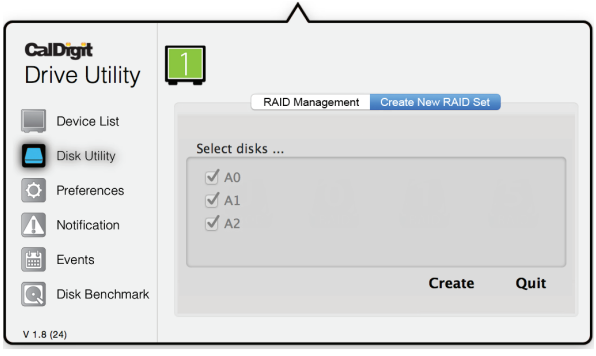
❸「RAID Management」を選択し、「Delete RAID Sets」をクリックします。「Yes」をクリックすると現在のRAIDセットが削除されます。



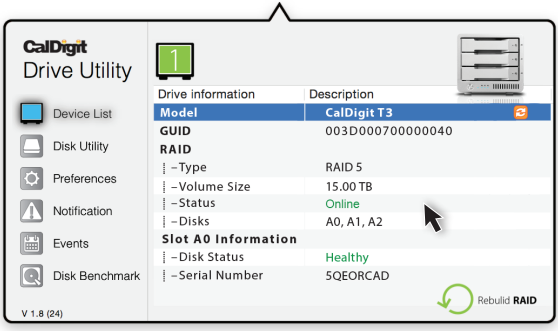
❹「Disk Utility」画面に戻り、「Create New RAID Set」をクリックし、RAID 5をクリックします。



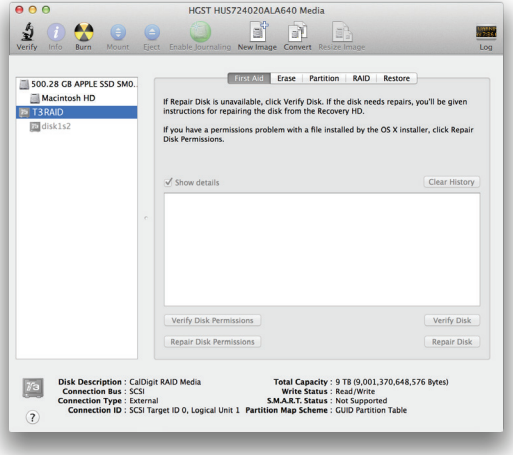
❺ RAIDセットを作成したいドライブをチェックし、「Create」をクリックしてください。ドライブは上からA0、A1、A2と番号が付けられています。



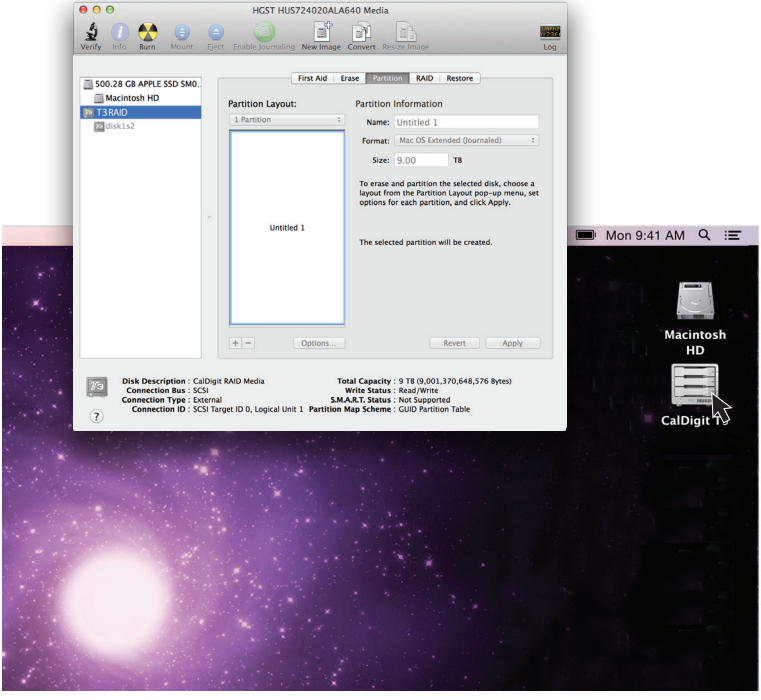
● 「Device list」でRAID 5の状態を確認することができます。



❻ RAIDが作成されたらOS Xのディスクユーティリティ（Finder → アプリケーション → ユーティリティ → ディスクユーティリティ）を開き、T3 RAIDを選択します。

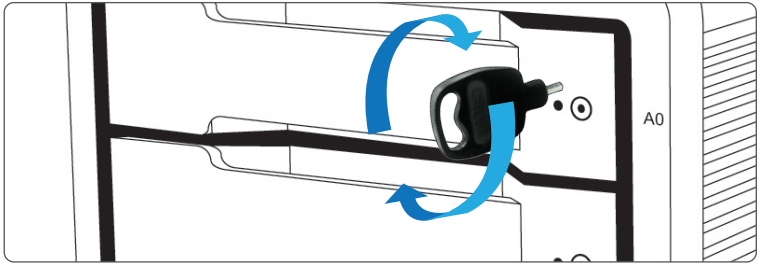


❼「パーティション」タブを選択します。ここでパーティションの名前や番号、ファイルシステムの種類等のオプションを変更することができます。オプションを選択したら、パーティションボタンを選択して確定してください。パーティションが作成されるとT3はマウントされ、使用できるようになります。

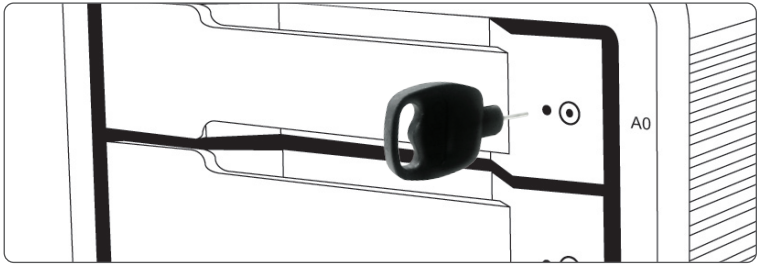


T3ドライブモジュールの交換

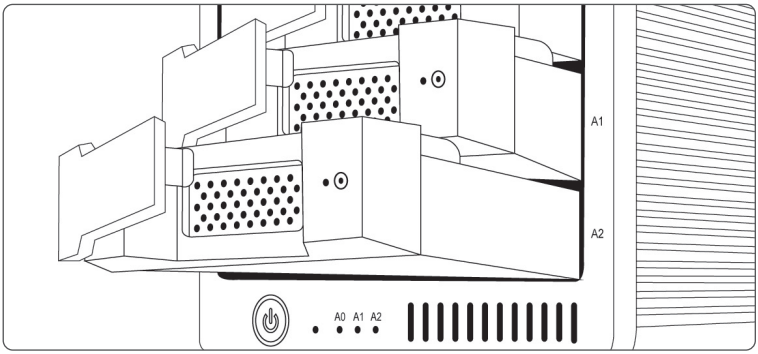
❶ ドライブモジュールの前面にあるロックにドライブキーを挿入して時計回りに回すとロックを解除することができます。



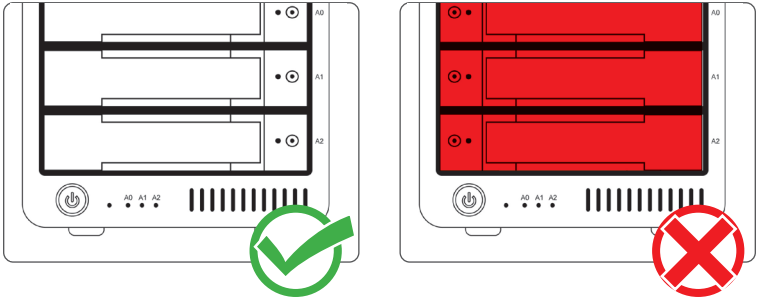
❷ リリース穴に、リリースピンをドライブモジュールのハンドルが開いて飛び出すまで挿入してください。



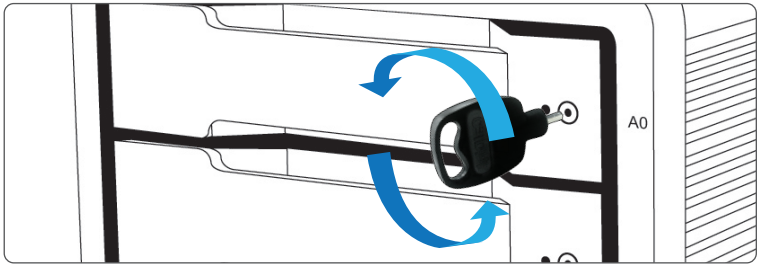
❸ T3からドライブモジュールを引き出します。



❹ 取り外したドライブと同じ向きに新しいドライブを挿入します。キーホールがドライブラベル側になるよう挿入します。次に、ドライブモジュールのハンドルを所定の位置にしっかりと固定されるまで押してください。ドライブを挿入する際は無理に力を入れないでください。損傷する恐れがあります。新しいドライブが、お使いのOSにマウントされます。



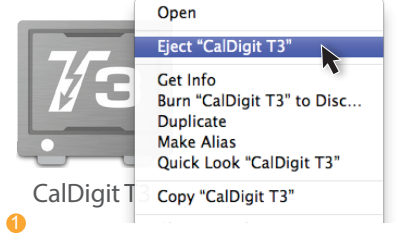
❺ ロックにドライブキーを挿入し、反時計回りに回して、新しいモジュールを固定しロックします。

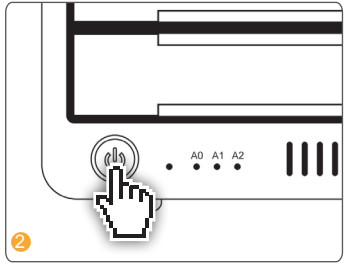


T3の電源を切る

❶ T3ボリュームアイコンを右クリックし、「"CalDigit T3"を取り出す」をクリックします。T3のディレクトリやデータの破損を防ぐために、シャットダウンする前に安全に取り出すことが非常に重要です。

❷ T3をアンマウントしたら、電源LEDが消灯するまで電源ボタンを押したままにしてください。





3. テクニカルサポート及び保証内容

テクニカルサポート

T3をご使用中に問題が発生した場合は、CalDigitのテクニカルサポートまでご連絡ください。

Phone: 050-3136-5168
Email: japan@caldigit.com
Website: www.caldigit.com/support.asp

お客様のコンピューターで次の情報をご確認のうえ、CalDigitテクニカルサポートへご連絡ください。

① ご使用のT3のシリアル番号
② OSとバージョン
③ コンピューターのメーカーとモデル
④ ご使用のコンピューターに接続しているT3以外のデバイス

保証内容

T3の材料や製造上の欠損は、5年間無償で保証されます。HDDやSSDの保証は3年となっております。保証はCalDigit社からの出荷日または正規販売店の送り状の日付から始まります。ファームウェア、ソフトウェア、ハードウェアの出荷時の設定と異なっている場合は、保証適用対象外となります。上記保証は、通常の使用で生じる欠損のみをカバーし、誤用、乱用、不注意、改造、電力の問題、取扱説明書に反した使用、天災、CALDIGITまたはCALDIGIT認定の他社サービス提供者以外による不適当な設置及び修理による誤動作や故障は含みません。CALDIGITは機能的に同等の新しいまたは使用可能な中古品に取り替える権利を留保します。
www.caldigit.com/rma/Limited-Warranty.pdf

THUNDERBOLT™

CalDigit T3

www.caldigit.com/jp

© 2015 CalDigit, Inc. All Rights Reserved